

教師の発問・支援・指導	児童の反応・活動
<p>前の授業で道の駅の学習をしましたね。どんな訓練をしていましたか。</p> <p>(役場の) 岡さんがこんな話をしていました。 「(コロナ禍ではあるが) 道の駅いたのでの総合訓練に参加してほしかった。」</p> <p>なぜこのようによびかけたのでしょうか。 それを今日はみんなに考えてほしいです。 ワークシートを出してください。</p>	<p>警察による訓練やドローン、ヘリコプター、災害救助犬、自衛隊などがありました。</p>
<p>㊦ 板野町はどのような思い出で、総合防災訓練の参加を地域の人たちによびかけたのだろう。</p>	
<p>(岡さんは) 何をみてほしかったのか、3分くらいで書いてみましょう。</p> <p>発表しましょう。</p> <p>訓練をみて、何を覚えてほしい・見てほしいと思いますか。</p>	<p>(ワークシートに書きこむ)</p> <p>県とか板野町には、総合防災訓練とか備えがあるということを知ってもらって、地震が起きたときに活用してもらいたいのだと思います。</p> <p>道の駅の安心できる設備を地域の人にみてもらいたいのだと思います。</p> <p>この資料を見てください。道の駅にはいろいろなものがありますよね。それを板野町民に知ってもらうと安心してもらえらと思います。</p> <p>つけ足します。備えを地域防災訓練で知ってもらって、地震が起きて避難しても大丈夫なようにしているのだと思います。</p> <p>2人につけ足します。この施設や備えをしていて、「安心だな」と思ってもらえるように呼びかけているのだと思います。</p>

<p>地域の人は何かしていませんでしたか。</p> <p>具体的には何かありましたか。</p> <p>前を見てください。これは何の働きを表していますか。</p> <p>（黒板に貼り、操作しながら） これは、命を・・・。</p> <p>みんなこれで安心ですか？</p> <p>安心ですね。</p> <p>前（黒板）には何がないですか？</p>	<p>地震が起きたら、このようになるのだと知ってほしいと思います。</p> <p>つけ足します。この資料をみてください。総合防災訓練では、自衛隊による救助支援や災害救助犬による共助がされていますよね。土砂崩れで自分が埋まってしまっても助けてくれることを知ってほしい・安心してほしいからだと思います。</p> <p>閉じ込められたりしたときに、災害救助犬が、けが人がいることを伝えてくれて助かるから、もし地震が起きたときに安心してもらいたいのだと思います。</p> <p>コロナ禍だけど、地震がきたときに備えがあると安心なんだよと思ってほしいのだと思います。</p> <p>自主防災</p> <p>普段から協力して練習するために地域の防災訓練があったと思います。</p> <p>2つの役割がありました。だから、自主防災は地域のために少しでも役に立ちたいと思っています。</p> <p>本当に地震が起きたときに備えて、練習に参加して生かしてもらいたい。</p> <p>公助 共助</p> <p>守ってほしいと思います。</p> <p>しないよりはましです。 少しは助かります。</p> <p>でも自分が助かるかはわかりません。 自助です。</p>
--	---

岡さんから、メッセージをもらってきました。
見てみましょう。

公助について、何を言っていましたか。

自分の命を守るためにどういうことをしてほしいと言っていましたか。

これを見てください。

これは訓練に参加した人の割合を表したグラフです。どちらが参加した方だと思いますか。

(84%・・・参加していない人)

(16%・・・参加した人)

実は、84%は参加していない人たちです。

次は、阪神淡路大震災のときのグラフです。

(97.5%・・・自助・共助)

(2.5%・・・公助)

だから、(公助に)限界がある。

岡さんが言う公助には限界があるっていうことはこういうことなんだね。

じゃあ、今から自分たちがどうすべきかを考えて、ワークシートに書いてみよう。

自分たちにできることは一に続けて書いてください。

班で話し合ってください。

それでは、発表していきましょう。

(岡さんからのメッセージをみる)

公助には限界があります。

訓練に参加してほしいと言っていました。

84%だと思います。

16%の方なのかな。

えー少ない！

なにしとん。

えーぜんぜんや。

自助・共助がほとんどだ。

自分たちでがんばるしかない。

(ワークシートに自分の考えを書く)

(各班で話し合う)

訓練に参加した人は16%しかいないから、自助や共助をもっと増やして、自主防災に参加する人を増やして、もし地震が起こったときにどうすればよいか考えたらいいと思います。

自主防災に入っている人は多かったですね。

付け足しをお願いします。

今までのことをまとめましょう。

公助が守ってくれているけど一番は自助，それについて続けて考えていくことが大切です。

㊦ 県・町・地域の人，自分たちが協力して命を守ることが大切。自分たちが考え続けていく。

振り返りを発表してください。

参加している人は16%で，参加していない人は84%でした。だから，自主防災に入ったり参加をすすめたりすることです。

けど訓練に参加する人は少なかったです。

避難訓練に参加することや，いざというときにパニックにならないように参加して，いいことをよびかけたらいいと思います。

家の人や地域の人たちに，家の備えや学校，板野町のことを伝えて，避難場所を教えて，協力して，「釜石の奇跡」のように行動したらいいと思います。

似ていて，取り組みをするために，この道の駅の避難訓練を呼びかければ，釜石の訓練が発揮されてその成果の現れなのだと思います。

公助ばかりにたよらずに，共助にたよったら，「釜石の奇跡」みたいに助かると思うから共助をやっていきたいです。だれかが「未来につなぐ」って言っていたから，下の学年に学習したことや考えたことを伝えて，いざというときに助かってほしいと思います。

(振り返りを書く)

自分にできることは，学習したことを家の人に伝えて，おじいちゃんやおばあちゃんととっしょに逃げる。

呼びかけるとありましたが、どうやって呼びかけますか。

では、今後どうやって呼びかけていくか考えていきましょう。終わります。

公助はたよれないとわかってはいたけど、資料をみてもたよれないとわかりました。自助・共助で自分の命を守っていかなければいけないと思いました。

ポスター
お手紙
となりの人に伝える

--	--

--	--

--	--